

## 職員目安箱に寄せられた主な意見・課題

No.	意見・課題の内容	現状及び今後の方針
1	<p>障害ある職員のため、勤務環境を整備してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務システムの開発に障害当事者が関与しておらず、障害者が使いこなせない。</li> <li>・視覚障害者用端末ではテレワークができない。</li> <li>・都庁舎内のドアノブが障害者には使いづらい。</li> </ul> <p>【財務局、デジタルサービス局】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者のUI/UXの観点も含め、各局がデジタル化（Webサイトの構築、システムの更新、新たなデジタルサービスの事業実施等）を進める際は、依頼を受け、デジタルサービス局として、システム構築等導入に向けた技術的支援を行っている。</li> <li>・TAIMSでは、視覚障害者の方に利用して頂くアクセシビリティ端末に、令和2年9月よりテレワーク可能タイプも導入し、希望する方へ配備を行っている。【デジタルサービス局】</li> <li>・庁舎内のドアノブについては、ユニバーサルデザイン化の観点から部分的な試行として、第一本庁舎及び第二本庁舎の3階以上のフロアの廊下から非常階段への防火扉のドアノブをレバーハンドル式に改修する工事を令和3年6月に完了した。【財務局】</li> </ul>
2	<p>新型コロナウイルスにより生じた離職者への対応のため、労政事務所の相談事業、職業訓練の強化を行うべきである。</p> <p>【産業労働局】</p>	<p>都は、「新型コロナウイルスに関する緊急労働相談ダイヤル」を設置し、新型コロナウイルス感染症に関する解雇・雇止め・内定取消、休暇や休業とそれに伴う賃金の取扱い、職場のハラスメント等に関する各種相談を受け付けている。</p> <p>また、令和3年度は、緊急対策として、業界の求人ニーズを踏まえ、ITや介護業界等への就職に必要な資格等を取得する都独自の委託訓練を新たに実施するなど、職業訓練の更なる充実を図った。</p>

## 職員目安箱に寄せられた主な意見・課題

No.	意見・課題の内容	現状及び今後の方針
3	<p>現在の昇任選考には ICT の科目がない。職員がデジタルの知識を深め、実務に活用できるようにするため、昇任選考の科目に ICT の科目を追加するべきである。</p> <p>【人事委員会事務局】</p>	<p>職員の職務の範囲及び必要となる知識は幅広い分野にわたり、職務内容・職種によって必要となる知識は異なるため、昇任選考では選考区分に応じた知識・能力の検証を行っている。</p> <p>試験の内容については、職員に求められる知識・能力を適切に問えるものとなるよう、社会情勢の変化に応じて適宜見直しを行っている。</p> <p>管理職選考において令和4年度から新設した選考区分「ICT」では、ICTの知識・能力の検証を行う予定である。</p>
4	<p>気候変動、プラスチックによる海洋汚染問題を解決するため、都は無料の給水スポットを設置してほしい。マイボトルを持参する人が増えても、給水できる場所がないため、ペットボトル入り飲料水の需要は減らない。プラスチック削減のための施策を推進してほしい。</p> <p>【水道局】</p>	<p>水道局では、公共性の高い場所に設置されている都内約900か所の水飲栓をTokyowater Drinking Station (DS)としてステッカーを貼付するとともに、シンボリックなDSを東京国際フォーラムなどに設置し、水道水の飲用促進、それを通じた環境配慮行動の促進を図っている。</p> <p>また、DS設置場所の協力を得て、これらの場所をインターネットで検索できるDSマップに公開し、街中で気軽に水道水を補給できる情報を提供している。</p>